

特集

五感紙&ケンラン
キャンペーン

記事

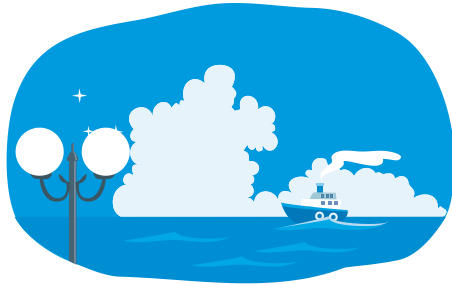
五感紙&ケンラン
キャンペーン

クータ・バインディング

石からできた紙
「ViaStone ペーパー」



五感紙&ケンランキャンペーン



今年も格別に暑さが厳しいようですが、いかがお過ごしですか。この暑さでは、まだまだビールのおいしい時期は続きそうです。

ビールといえば、ファンシーペーパーに『ピア・ペーパー』という紙があります。ビールラベル古紙 20%とビールファイバー5~20%が配合されている紙です。ビールファイバーとは、ビールの製造過程

でできる原材料のカスです。ヨーロッパのビールをイメージして作られた紙です。表面にはニス引がしてあり印刷できますが、裏面はビールファイバーが剥がれることがあるため印刷には不向きです。規格が700×1000<175>のみ、色が3種類と少ないため、用途は限定されてしまうかもしれません。しかし、ユニークな紙ではないでしょうか。

さて、今月から10月30日までの3ヶ月間、五感紙&ケンランのキャンペーンを行っています。ケンランはお使いになられたことがある方が多いと思います。しかし、五感紙のほうは、まだまだお使いになっていない印刷会社さんも多いのではないかと思います。ぜひ、この機会に選択肢の一つとしてご検討いただけたらと思います。よろしくお願いたします。

クータ・バインディング

クータ・バインディングとは、並製本でありながら、上製本のように開きやすく、読みやすく、書き込みやすく、なおかつ丈夫にできる製本方法です。上製本で使われているフォローバックという技術を、並製本に応用しています。

通常の並製本では、本の強度をだすために、本文と表紙はホットメルトなどで強力に接着されています。そのため、本自体に本を閉じようとする力がかかっているため、手で本を押さえていないと本が閉じてしまいます。しかし、このクータ・バインディングは、手で押さえなくても閉じずに本が開いたままの状態です。

では、どのような仕組みで、開いたまま

の状態が保てるかをご説明します。本の表紙の背になる部分に、筒状に加工したクラフト紙を接着剤で貼りつけます。それを、製本加工し本文とくっつけます。本を開くと上製本のように背紙と本文の間に筒状に加工したクラフト紙によって空洞ができ、開いたページを開いたままの状態に保つことができるのです。

また、ページが大きく開くので、ノドの部分ギリギリまで印刷ができます。ページ数の節約になったり、見開きページも有効に使えます。

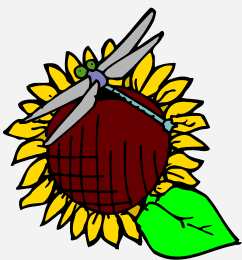
また、子供や年配者にもやさしいユニバーサルデザインブックとしての評価もあるそうです。裏面へ続く...

スギウラ株式会社
営業一部
〒370-0006
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号
代 表
027-361-5808
営業一部
027-361-5734

Fax
027-361-1272

当社 Web サイト
現在、リニューアルにむ
けて、作成中です。



お気付きの点や質問、
疑問などありましたら、
ご遠慮なく営業または、
下記までお問合せくだ
さい。

お問合せ
メールアドレス
sg-takahashi-t
@kamisugiura.co.jp

用途は、教科書・地図帳・料理本・取
扱説明書・カタログなど多種多様な本に
使えます。本を置いて作業することが多
い場面で役立ちます。

このクーター・バインディングは、株式会
社渋谷文泉閣様が開発された技術で、
製法特許も申請しているそうです。詳細
は、渋谷文泉閣様HPをご覧ください。

<http://www.bunsenkaku.co.jp/>



石から出来た紙「ViaStoneペーパー」

普通、紙といえば木、もしくは植物を主
原料とします。また、合成紙“ユボ”では石
油がその主成分となっています。

今回「ISTO(国際文具・紙製品展)20
08」に“石から作られた紙”が紹介された
ようです。石灰岩を主成分とし、パルプを
一切使用しないということで森林資源の保
護に。製造工程で水を使用しないというこ
とで水質保護に。さらに石灰岩は燃えま
せんので焼却時のCO2削減にも効果を
期待されています。

もともとは台湾で開発された新素材で、
既にアメリカでは4年前に販売されていま
す。今年から日本でも販売が始められて
いるようです。

1.構成材質

前述しましたが、この紙は木材を一切使
用しません。チョークやライン引きの粉に
使われる石灰岩を80%、紙の形状を維持
するための“つなぎ”に高密度ポリエチ
レン(HDPE)が20%で構成されています。

2.性質

・耐水性

原料が石とポリエチレンから出来ている
だけあって、耐水性は非常に高く、雨にさ

らしても、水に直接つけても問題はないで
す。一方で、その耐水性の高さからインクジ
ェットプリンタのインクはのりづらく、適正は
低いです。

・耐熱性

20%使用しているポリエチレンの影響で、
熱には非常に弱く、100~110度の熱で変
形してしまいます。コピー機やレーザープリ
ンタにはまだ使えません。ですが、熱で変形
してしまうというのは熱による成型が可能とい
う特徴にもなるため、それを活かした紙トレイ
などへの応用も検討されています。

・保存性

紙はかなりの長期保存が可能ですが、そ
れに比べるとViaStoneペーパーの寿命は
まだまだ短いようです。「太陽光などに含ま
れる紫外線によって8ヶ月くらいで分解して
しまう。」とのこと。そのため、保存が前提とな
る書類や書籍には向きません。ただ、分解
すると言っても変色などが起きるわけではな
いので、紙の劣化では発生する黄斑などは
ないようです。

3.価格

単価は、紙に比べて2倍程。生産量が少
ないことも起因して、まだまだ高いようです。